

第2学年 算数科学習指導案

日 時 平成30年11月8日（木）
 児 童 男子10名 女子10名 計20名
 指 導 者 二上 敏哉

- 1 単元名 かけ算（1）「新しい計算を考えよう」（東京書籍2年下）
- 2 単元の目標
 ◎乗法の意味について理解し、それをを用いることができるようにする。

3 本時の指導（22/25）

（1）目標

○問題づくりによる、式の読みや式に表現することを通して、 $5 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4$ の段の乗法の意味について理解を深める。

（2）具体の評価規準

評価の観点	おおむね満足できる	努力を要する児童への手立て
【数学的な考え方】 乗法の用いられる場面をとらえ、言葉や式で説明している。	乗法の用いられる場面をとらえ、「1つ分を表す数」に着目して説明している。	おはじきを用いたり、ペアの友だちの考えを聞いたりして、自分の考えをもたせる。

（3）研究主題との関わり

①「伝え合う」活動を行う場面と工夫

ア 課題をつかみ意欲を持たせる場面

課題把握の段階で、①と②の問題の違いを確認し、学習課題を全体で「伝え合う」。

エ 考えを交流し、練り合う場面

学級全体で考え方の類似点や相違点、疑問点などについて「伝え合い」を行う。図や数、式の関連等を問うことで、理解を深めさせたい。

②「伝え合う」活動の手立て


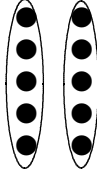
友達の考えと同じところ、違うところなどの視点を持たせ伝え合いをする。ペアやまわりの友達と行う。その際には、友達の考えをしっかりと聴き、反応させたい。

（4）展開

段階	学習内容と活動「予想される児童の反応」	指導上の留意点 ◆研究主題との関わり ◇評価
導 入 5 分	1 問題を把握する。 つぎの2つのもんだいの、しきと答えをくらべてみましょう。 ① えんぴつを1人に2本ずつ、5人にくばります。 えんぴつは、ぜんぶで何本ありますか。 ② えんぴつを2人に5本ずつくばります。 えんぴつは、ぜんぶで何本ありますか。 ・①は2本ずつ5人に配っている。 ・②は2人に5本ずつ配っている。 2 学習課題を立てる。 1つ分の数、いくつ分に気をつけて考えよう。 3 学習の見通しをもつ。 ○式は 2×5 と 5×2 になる。 ○図を使って考える。	・問題文を把握できるように、①②の問題を声に出して読むようにさせる。 ・①も②もかけ算の式になる問題であることを確認する。 ◆課題をつかみ意欲を持たせるための「伝え合い」 ①ア ・①と②の問題の違いをペアで話し合わせる。 ・問題文にある数値は同じだが、問題場面が異なることに気づかせる。 ・既習の「1つ分の数」とその「いくつ分」のかけ算の考えを思い出させる。

展	<p>4 自力解決をする。</p> <p>○「1つ分を表す数」を基に、①、②の問題の式を書き、問題の解決を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①は2本ずつ5人に配るから「1つ分の数」は2。 ②は2人に5本ずつ配るから「1つ分の数」は5。 <p>①… $2 \times 5 = 10$ 答え10本 ②… $5 \times 2 = 10$ 答え10本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ②の問題文では、「1つ分の数」「いくつ分」の順に数値が出現しないので、注意させる。 問題文を把握しやすいように、図で表して考えさせる。
開	<p>5 考えを伝え合い、解決する。</p> <p>○①、②の問題の式と答えを話し合う。</p> <p>「①は1人に2本ずつだから、1つ分の数は2で、それを5人に配るから、いくつ分は5になります。式と答えは、$2 \times 5 = 10$ 答え10本です。」</p> <p>「②は2人に5本ずつだから、1つ分の数は5で、それを2人に配るから、いくつ分は2になります。式と答えは、$5 \times 2 = 10$ 答え10本です。」</p> <p>6 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「1つ分の数」と「いくつ分」を考えてしきをつくる。図にかくと「1つ分の数」と「いくつ分」がわかりやすい。</p> </div> <p>7 適用問題を解く。</p> <ul style="list-style-type: none"> □に数を入れて、4×3、3×4の式になる問題をつくる。 <p>「みかんが4こずつ入っているふくろが、3ふくろあります。みかんは、ぜんぶで何こありますか。」</p> <p>「みかんが3こずつ入っているふくろが、4ふくろあります。みかんは、ぜんぶで何こありますか。」</p>	<p>◆考えを交流し、練り合うための「伝え合い」 ①エ</p> <ul style="list-style-type: none"> なぜその式を書いたのか、「1つ分を表す数」に着目して説明させる。 図に書いて説明を行い、「1つ分の数」を○で囲み、とらえやすいようにする。 式でも1つ分はどこかを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【数学的な考え方】 ◇乗法の用いられる場面をとらえ、言葉や式で説明している。(観察・ノート・発言)</p> </div> <p>◆考えを交流し、練り合うための「伝え合い」 ①エ</p>
終末 5分	<p>8 振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> わかったことや頑張ったこと、友達のよさや次に学習したいことなどについて振り返る。

(5) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>つぎの2つのもんだいのしきと答えをくらべてみましょう。</p> </div> <p>か) かけ算のしきになるもんだいについて考えよう。</p> <p>見) ・①は2本ずつ5人にくばっている。 ・②は2人に5本ずつくばっている。</p> <p>自)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>問題①</p> </div> <p>①  2本ずつ 1つ分2 「2本が5つ分」 $2 \times 5 = 10$ 答え10本</p> <p>②  5本ずつ1つ分は5 「5本が2つ分」 $5 \times 2 = 10$ 答え10本</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>問題②</p> </div> <p>ま) 「1つ分の数」と「いくつ分」を考えてしきをつくる。図に書くと「1つ分の数」と「いくつ分」がわかりやすい。</p> <p>(適用問題) △) みかんが□こずつ入っているふくろが□ふくろあります。みかんは、ぜんぶで何こありますか。</p>
--	---	---

